

## 観察研究へのご協力をお願い

社会医療法人 博愛会では、以下に該当される患者さんを対象とした  
臨床研究（後ろ向き観察研究）を実施しております。

課題名【転移再発乳癌における ACP の現状と未実施例の臨床的・社会的背景について】

- 研究責任者：腫瘍内科 味八木 寿子

- 研究の概要

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）は、個人の価値観や人生の目標、将来の医療ケアについて、本人の希望や意思を家族や医療チームと話しあい、理解し合うプロセスのことです。ACP は年齢や病期にかかわらず、すべての患者さんに適用される重要な取り組みとされており、転移性乳がんの患者さんにおいても、早期からの ACP が重要とされています。当院では、ACP で話し合う際に「共に治療について考えていくための質問紙」や「ACP サマリ」といったツールを用いて、ACP の実践にチームで取り組んでいます。本研究では、当院における ACP の活用率（質問紙やサマリーの使用状況）およびその実施時期を明らかにすることを目的としています。さらに、ACP が実施されなかった症例については、その背景となる要因について検討することを目的としています。この研究の結果が、医療機関における ACP 支援体制の整備や実施方法の改善につながることを期待しています。

- 研究の対象となり得る患者さん

西暦 2023 年 1 月 1 日から西暦 2024 年 12 月 31 日までに相良病院で転移再発乳癌の治療をうけ亡くなられた方

- 研究の方法

日常診療で得られた以下の情報を、電子カルテより抽出し使用します。

- ① 臨床所見（年齢、性別、転移再発診断日、転移部位、死亡日）
- ② ACP サマリまたは質問紙の活用の有無および初回入力日
- ③ 治療内容、最終化学療法実施日
- ④ 病理学的所見（乳癌サブタイプ）
- ⑤ 合併症、家族構成、キーパーソンについて

- 研究期間

倫理審査委員会承認日 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日

- 情報の保管・管理

研究責任者は、研究等の実施に関わる文書（申請書類の控え、通知文書、研究対象者 識別コードリスト、同意書、症例報告書、その他データの信頼性を保証するのに必要な

書類または記録など）を医局の鍵のかかるロッカーに保管します。保管期間は、研究の終了について報告された日から 5 年を経過した日又は研究結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日までの期間とします。保管期間終了後に紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し破棄します。その他媒体に関しては適切な方法で破棄します。

- 資金と利益相反

本研究における研究資金はなく、研究に関して開示すべき利益相反\*はありません。

\*外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のことを指します。

- 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベース等で公表します。

公表の際には、個人が特定される事がないよう、十分配慮します。

本研究の実施については、「社会医療法人博愛会 倫理委員会」で承認されています。

お名前・住所などの個人情報が本研究で利用されることは無く、この研究で対象となる患者さんのプライバシーは厳重に守られ、一切公表されません。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む実施についての情報を公開することが必要とされています。

本研究について何か気がかりな点や、より詳しくお聞きになりたい点等ございましたら、下記相談窓口までお問い合わせください。本研究の対象となる方の法定相続人（ご家族など）により、情報の利用を希望されない旨の申し出があった場合は、本研究に情報を用いることはしません。ご遠慮なく下記「お問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

2025 年 6 月



<問い合わせ 連絡先>

社会医療法人博愛会 相良病院

腫瘍内科 味八木寿子

099-224-1800（内線：1534）

（平日 9 時～16 時対応可）